彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, October 2025

課長：佐藤 裕久　H. Sato
幹事：下元 繁男　S. Shimomoto

○ 10月の状況（佐藤）

彗星課メーリングリスト(oaa-comet ML、以下同じ）などに次のような報告があった。

☆ C/2022 N2 (PANSTARRS) (写真a)

私(須賀川:Q23)は、10月2.66日、29.60日UT、0.25-m f/4反射＋CCD(以下同じ)でそれぞれ全光度を14.4等、14.3等と測定した。集光した 0.9’～1.0’のコマとp.a.261～250°に 0.9’～3.1’のかすかな尾が見えた。

高橋俊幸氏(栗原:D95)は、10 月 15.57日､23.55日UT､0.25-m f/4.2反射＋CCD(以下同じ)でそれぞれ全光度を14.1等、13.9等と観測した。それぞれ集光した1.8’のコマがあり、23 日は p.a. 254°に向かって4.3’のかすかな尾があるとのこと。

門田健一氏(上尾:349)は、10 月 17.56日 UT、0.25-m f/5.0 反射+CCD(以下同じ)で全光度を14.4等と観測したとのこと。

10月中、国内で位置観測したのは他に、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)、井狩康一氏(滋賀県守山市:900)、野原秀憲氏(栃木県宇都宮市:Q21)であった。

☆ C/2023 C2 (ATLAS)

私は、10 月 2.69 日 UT、全光度を 15.7等と測定した。集光した0.4’のコマが見えた。

吉見政義氏(福知山:903)は、10月24.55日UT、0.25-m f/6.3 Schmidt-Cassegrain+CCD(以下同じ)で全光度を16.1等と観測したとのこと。

10月中、国内で位置観測したのは他に、井狩氏(守山:900)、嶋邦博氏(五藤天文台,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ C/2024 E1 (Wierzchos)

吉見氏は､10月1.45日UT､全光度を13.8等と観測したとのこと。

10月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

☆ C/2025 A6 (Lemmon) (写真b、c)

私は、10月2.74日UT、全光度を6.8等と測定した。強く集光した 6.3’のコマとp.a.310°に向かって19’以上(視野を超えて伸びている)の尾が見えた。

門田氏は､10月13.77日､17.37日､30.36日 UT、それぞれ全光度を 5.6 等、5.2 等、4.1等と観測したとのこと。

10月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、吉本勝巳氏(山口県平生町:P87)、山口義昭氏(大阪府堺市:Q02)、嶋氏(五藤,八ヶ

岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

11 月 1 日、織部隆明氏(佐治天文台:867)から「10 月 28 日、レモン彗星のスペクトルを撮影すると、ナトリウム輝線らしいものが写りましたが、この日は雲を通しての観測で条件が悪く、翌 29 日の快晴の下で撮影し直すと、やはり同じ位置に輝線があり、位置的にはナトリウムかと思われますが、いかがでしょうか？10 月 23 日に撮った時にはよくわかりませんでした。ひとまず、10 月 23 日と 29 日のスペクトル画像を添付します。翌 30 日も薄雲を通して何とかスペクトル観測をしましたが、やはり同じ位置に輝線があります。28 日、29 日、30 日と写っています」とのコメントとスペクトル画像の紹介があった。

翌日、菅原 賢氏(東京都町田市:Q19)から「10 月 13 日と 18 日のスペクトル観測の速報が掲載されていますね。ナトリウム輝線がこの間に 2 倍以上の強度になったと書いてあります」とのコメントと彼の 10 月 16 日のスペクトル画像の紹介があった。

☆ C/2025 R2 (SWAN) (写真 d)

私は、10 月 15.40 日、27.41 日、30.38 日 UT、それぞれ全光度を 7.9 等、8.2 等、8.5 等と測定した。中央集光した 7.9'～9.8'のコマと p.a.82～93° に向かって 6.3'～10.4'のかすかな尾が見えた。

門田氏は、10 月 17.39 日、23.37 日 UT、それぞれ全光度を 7.3 等、7.4 等と観測したとのこと。

高橋氏は、10 月 17.45 日、30.41 日 UT、それぞれ全光度を 8.2 等、8.8 等と観測した。17 日は強く集光した 6.9'のコマがあり、30 日は集光した 7.1'のコマがあるとのこと。

吉見氏は、10 月 24.48 日、27.49 日 UT、それぞれ全光度を 7.7 等、8.2 等と観測したとのこと。

10 月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、山口氏(堺:Q02)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

☆ 240P/NEAT

門田氏は、10 月 13.70 日 UT、全光度を 12.4 等と観測したとのこと。

高橋氏は、10 月 15.59 日 UT、全光度を 12.7 等と観測した。集光した 2.8'のコマと p.a.257° に向かって 7.0'の広い尾があるとのこと。

吉見氏は、10 月 28.65 日 UT、全光度を 12.0 等と観測した。また B 核を、10 月 28.65 日 UT、全光度を 17.9 等と観測した。

10 月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、吉本氏(平生:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

○ 10 月に発見を確認した彗星

符号、名前、発見(UT)、光度等は次のとおり。詳細は MPEC、CBET を参照。彗星名の後につけた MPC コードは、日本人の確認者のコードで、U69-5、U94-0 佐藤英貴氏、P87 吉本勝己氏である。*は恒星状。

① C/2025 Q3 (ATLAS) U69-5*
発見: ATLAS Haleakala (T05)

2025 年 8 月 20.6 日、19.5 等
(MPEC 2025-T165、CBET 5623)

2025 年 10 月 11.6 日、17.5 等
(MPEC 2025-U35、CBET 5624)

② C/2025 T1 (ATLAS) P87、U94-0
発見: ATLAS Mauna Loa (T08)

○ 主な光度等観測報告

2025	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2022 E2 (ATLAS)											
Oct.	17.52	15.1	0.5′	-	1.0′	50°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	23.51	14.5	0.4	-	1.5	45	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2022 N2 (PANSTARRS) (写真 a)											
Oct.	23.64	13.8	1.0′	-	9.5′	255°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2023 R1 (PANSTARRS)											
Oct.	23.45	15.5	0.15′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2024 E1 (Wierzchos)											
Oct.	17.41	12.5	0.5′	-	2.5′	25°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 A6 (Lemmon) (写真 b、c)											
Oct.	1.73	6.9	7.8′	-	23.0′	306°	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
	17.37	6.1	8.5	-	>13	350	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑥
	20.37	5.0	8.5	-	>13	10	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑥
	23.37	6.0	8.5	-	>13	25	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑥
	24.43	4.8	-	7	2.2°	350	-	4/5	10× 5-cmB	永島和郎	⑦
	28.38	3.9	7.9	-	1.4	23	4/5	4/5	D800E***	佐藤裕久	⑧⑨⑩
C/2025 K1 (ATLAS)											
Oct.	23.82	8.5	1.5′	-	>17.0′	280°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 R2 (SWAN) (写真 d)											
Oct.	17.39	7.0	7.5′	-	>7.0′	85°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	20.40	6.9	9.5	-	>5.0	80	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	23.41	6.6	9.5	-	>5.0	75	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	24.59	6.8	8.4	4/	5.3	265	-	3/5	26×10-cmR	永島和郎	⑦⑫
	28.39	6.7	13.3	-	-	-	4/5	4/5	D800E***	佐藤裕久	⑧⑬⑭
C/2025 T1 (ATLAS)											
Oct.	23.83	12.4	2.4′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②

○ 主な光度等観測報告

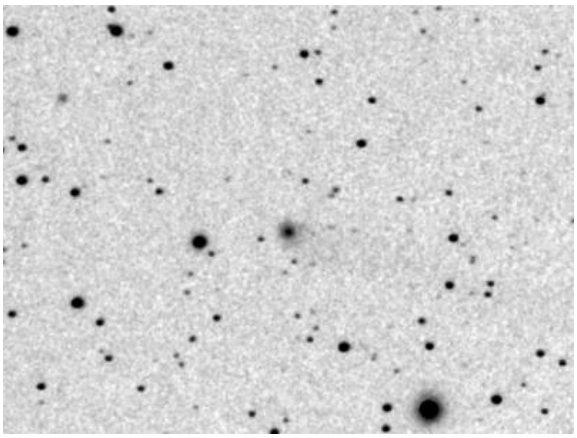
2025	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
24P/Schaumasse											
Oct.	23.75	15.5	0.2′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
240P/NEAT											
Oct.	23.67	12.8	0.8′	-	>10.0′	255°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②

＊ 40-cm F8.0（レデューサー使用 F6.5）リッチークレティアン反射＋FLI ML8300（2x2 bin, -6℃）。
＊＊ 15-cm F4（レデューサー使用 F2.5）反射＋デジタル一眼 Canon EOS 6D。
＊＊＊ 300-mm F2.8 レンズ（絞り F4)＋デジタル一眼 Nikon D800E。

① 観測地:長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。② 光度、コマと尾の形状確認:10-20×60 秒露出スタック。③ 15 cm F2.5 反射+Canon EOS6D の G 画像を Makali`i Ver1.4a と Guide9.1 にて測光。観測地は千葉県横芝光町の九十九里海岸。④ 露出 40 秒（20 秒×2)。⑤ 強く集光した青いコマから北西に 20′ を越える尾が伸びている。⑥ tail over frame ⑦ 観測地:鳥取県智頭町 大師峠 H=600m。 ⑧ D800E の G 画像をステライメージで測光（Tycho-2 使用)。⑨ 露出 4 秒×5 ⑩ 屋根に隠れる前で、まだ空は明るかった。⑪ faint tail ⑫ 10-cmR としたが、これは 26×10-cmB の左右の目の像が一致しない為、双眼鏡の片側(左)のみを使用したもの。⑬ 露出 3 秒×10 ⑭ 敷地内の電柱に架かる電線の間に見えた。

※ 全ての光度等観測は、次を参照。
https://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm

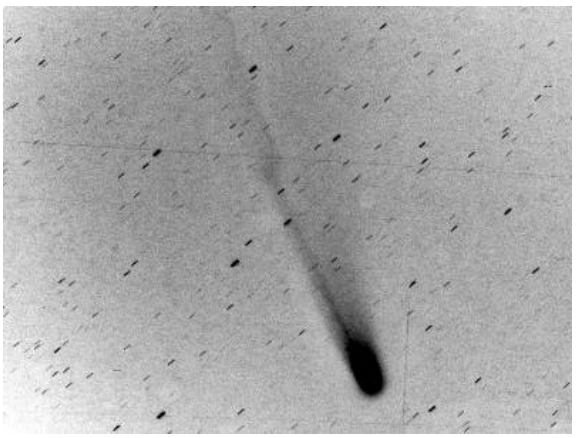
※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail ： hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。



（写真 a）C/2022 N2 (PANSTARRS)
2025,10,27 22h49.7m-23h13.8m (JST)
exp.60s×24 Sky90 500-mm 533MC
三重県名張市 田中利彦氏



（写真 b）C/2025 A6 (Lemmon)
2025,10,03 02h22.7m-42.3m (JST)
exp.30s×30 0.25-m f/4 反射 + CCD
福島県須賀川市 佐藤裕久



（写真 c）C/2025 A6 (Lemmon)
2025,10,23 18h29.3m-38.4m (JST)
exp.60s×9 Sky65 230-mm 2600M
三重県名張市 田中利彦氏



（写真 d）C/2025 R2 (SWAN)
2025,10,06 18h47.9m-19h00.1m (JST)
exp.30s×24 Sky90 500-mm 533MC
三重県名張市 田中利彦氏